

試験の内容と評価（試験の評価は、全て複数の試験官で実施しています。）

★第2次試験

第1次試験合格者について実施します。
小論文Bは第1次試験の受験者全員に実施し、第1次試験の合格者のみ採点します。



小論文B

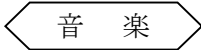
・300点満点

実施方法	与えられたテーマについて、600字以内で記述します。時間は60分間です。	
評価の観点	テーマの把握	・テーマを深く理解しているか。 ・テーマに関する知識や見識はあるか。
	表現力	・わかりやすく適切な表現をしているか。 ・内容に具体性があるか。
	論文の構成	・説得力のある構成になっているか。 ・テーマについて自分の考えを述べているか。
	教員としての資質	・教員としての適性が感じられるか。



実技試験

・100点満点



試験内容	評価の観点
ピアノ以外の楽器 演奏による独奏 (暗譜による演奏)	・楽器の特性を踏まえ、曲にふさわしい音色や奏法を工夫して演奏しているか。
新曲視唱及び 伴奏付け (初見)	・記譜された旋律を正確に読譜して歌唱し、旋律にふさわしい和声・伴奏型を付けて演奏しているか。 ・旋律の全体像をつかみ、音楽の流れにのって豊かに表現しているか。
ピアノによる伴奏 及び歌唱 (暗譜による弾き歌い)	・歌詞の内容や曲想を生かし、豊かな表現でピアノ伴奏し、歌唱しているか。 ・発声や語感・歌詞のニュアンスなど言葉の特性を生かして歌唱しているか。
ピアノ演奏 (暗譜による演奏)	・楽曲の特徴を捉え曲にふさわしい表現を工夫し、豊かな表現で演奏しているか。 ・中学校の音楽指導に対応できる、ピアノの基礎的な演奏技能をもっているか。

美術

試験内容	評価の観点
静物淡彩	- 対象を深く見つめ感じ取ったことを基に、心豊かな構想を練っているか。 - 多様な表現方法や材料などの生かし方を工夫し表現しているか。 - 光と陰、奥行きや広がり表現するなど、基礎的な技能を身に付けているか。

保健体育

試験内容	評価の観点		
体育実技	教材の理解	運動に対する基礎的・基本的な能力	運動の技能
器械運動	マット(必須) 鉄棒、跳び箱、平均台から1種目を選択 ・技をより大きくするなど工夫をしているか。	・実際の授業の中で対応できるか。	・各種目の技の出来映え、技能の程度を判断する。
陸上競技	ハードル走(必須) ・自己の能力に適したインターバル、高さの選択などを理解しているか。	・実際の授業の中で対応できるか。	・スタート、インターバル、ハードリング、リズムカルな走法の程度を判断する。
球技	バasketボール(必須) ・ゲームでのポジショニング、空間に走り込む動き、空間を作り出すなどの動きを理解しているか。	・実際の授業の中で対応できるか。	・ドリブル、パス、フェイント、シュート、リバウンド等の技能の程度を判断する。
	バレーボール(必須) ・ゲームでのポジショニング、カバーリング、定位置に戻るなどの動きを理解しているか。	・実際の授業の中で対応できるか。	・パス、レシーブ、スパイク、サーブ等の技能の程度を判断する。

英語

試験内容	評価の観点
スピーチ ディスカッション	- 正確で、適切な英語を使うことができるか。 - 自分の考えなどについて、的確に伝えたり、話し合ったり、意見の交換をしたりすることができるか。 - 話し手の考えなどを理解しながら、話し合いに参加しているか。
マイクロティーチング	- 導入のアイデアは、生徒が関心をもてるよう工夫されているか。 - 文法事項を適切な方法で提示することができるか。 - 英語で授業を進めることができるか。

実施方法	受験者が教師役と児童生徒役になって、「学級担任(又は養護教諭)が教室で学級指導を行う」という設定で行います。教師役の時間は1人5分間です。 指導内容(テーマ)は事前に与えられた10個の中から、当日指示した1つで行います。 小学校は小学5年生、中学校/高等学校は中学2年生、高等学校(工業・商業)は高校2年生の設定で行います。 特別支援学校及び養護教諭は小学5年生又は中学2年生のどちらかを選択して行います。 受験者は、教師役、児童生徒役の両方を行います。	
評価の観点	指導力	◎指導内容を理解し、解決に向けて適切に指導しているか。 ＜具体例＞ ・状況に応じて発問や展開等を工夫している。 ・指導内容に応じて事実の確認や子どもの気持ちを聞くなどして、子ども自身に考えさせたり気づかせたりして指導している。 ・子どもの反応等に対して、適切に対応している。
	表現力	◎指導に必要なコミュニケーション能力が備わっているか。 ＜具体例＞ ・適切な言葉遣いや話し方で、指導している。 ・子どもの発達段階に応じて例示をしたり板書を工夫したりするなど、わかりやすく指導している。 ・状況に応じた表情で、指導している。
	意欲・人柄	◎指導の中に子どもへの愛情が感じられるか。 ＜具体例＞ ・子どもの心情を受け止めながら指導している。 ・子どもが安心して考えることができる雰囲気をつくっている。 ・指導全体を通して、子どもをひきつける魅力が感じられる。

実施方法	与えられたテーマについて10人程度のグループで討論を行います。 時間は1グループ35分間程度です。	
評価の観点	意欲	◎討論に積極的に臨んでいるか。 ＜具体例＞ ・前向きな姿勢で考えたり、意見を述べたりしている。 ・討論を通して、課題についての思考を深めている。 ・自分の意見を論理的にわかりやすく述べている。
	対人関係能力	◎他者と協力し、討論を円滑に進める能力があるか。 ＜具体例＞ ・場や目的に応じた発言ができる。 ・多様な見方や考え方を受止め、関連づけて意見を述べている。 ・態度や言葉に他者への気遣いや配慮がある。
	人柄・適性	◎教員としてふさわしい姿勢・視点をそなえているか。 ＜具体例＞ ・明るく朗らかで、言動からまじめさや誠実さが感じられる。 ・ものごとに対して、広い視野で考えることができる。 ・子どもを大切にしていることが伝わってくる。

実施方法	複数の試験官で行います。時間は1人25分間程度です。	
評価の観点	社会性	＜具体例＞ ・あいさつやマナーなど、社会人としての基本的な素養がある。 ・質問の意図を正しく理解し、自分の考えを簡潔に伝えている。 ・考え方に柔軟性や適応性があり、職場の教職員等と良好な人間関係を築くことができる。
	教員としての適性	＜具体例＞ ・子どもへの愛情があり、子どもとしっかりと向き合って指導・支援しようとしている。 ・学び続ける姿勢があり、常に成長しようとする意思がある。 ・教育公務員としての責任感と自覚をもっている。
	意欲・人柄	＜具体例＞ ・前向きで積極性があり、困難な状況の中でも柔軟に対応しようとしている。 ・ものごとを広い視野でとらえ、よりよいものを求めようとする。 ・親しみやすい雰囲気を持ち、応答から誠実さが感じられる。